# 市民意向の概要(市民アンケート)

### 第1節 調査の概要

本計画の策定にあたっては、本市がこれまでに取組んできた施策に対する満足度や、今後、より充実を図るべき取組み等について、市民の皆さんに幅広く御意見をうかがうためのアンケート調査を実施しました。主な設問の回答結果等は、以下のとおりです。

#### (1)調査の実施方法・期間

①調査の対象者

本市に住民登録している満 18 歳以上の市民の中から、無作為抽出した男女 5,000 人

②調査の実施方法

郵送による調査票の配布、郵送及び WEB(インターネット)による回収

③調査の実施期間

令和5 (2023) 年11月15日~12月10日まで

4回収状況

配布数 5,000 票、有効回収数 1,814 件 (郵送分 1,381 件、WEB 分 433 件)、回収率 36.3%

#### (2) 設問の構成

【問1~8】回答者の属性等

【問9】まちの印象・暮らしやすさ(住み続けたいか、住み続けたい・住み続けたくない理由)

【問 10】日常生活における意識

【**問 11・12**】まちの人口減少について(人口減少を知っていたか、人口減少を抑えるために行政が力を入れるべき取組み(優先順位の高い順に1位から3位まで))

【問 13】現在の市民生活やまちづくりに対する評価と今後、行政が特に力を入れるべき取組み

【問 14】市民参加のまちづくり(まちづくりの主体)

## 第2節 主な設問の回答結果

#### 1 北茨城市への定住意識

「住み続けたい」が 81.9%で、「住み続けたくない」の 14.6%を大きく上回っています

「住み続けたい(51.4%)」と「できれば住み続けたい(30.5%)」を合わせた「住み続けたい」が81.9%で、「できれば住み続けたくない(12.0%)」と「住み続けたくない(2.6%)」を合わせた「住み続けたくない」の14.6%を大きく上回っています。

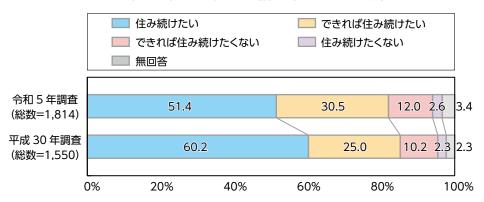
Ι

Ι

Ш

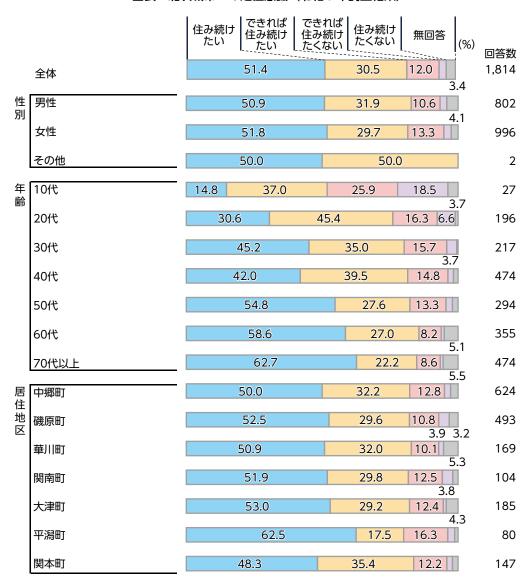
資料

図表 北茨城市への定住意識 (前回調査結果との比較)



年齢別に見ると、20代では「できれば住み続けたくない(16.3%)」と「住み続けたくない(6.6%)」を合わせた「住み続けたくない」が22.9%に上っているなど、若い年代ほど「住み続けたくない」の回答率が高い傾向にあります。

図表 北茨城市への定住意識 (令和5年調査結果)



#### 2 現在の市民生活やまちづくりに対する評価 (満足度)

#### 市民生活に身近な道路交通の安全性に対する不満度が高くなっています

「満足」と「やや満足」を合わせた「満足」の回答率が最も高かったのは、「1 消防や救急の体制、活動」の 75.7%であり、以下、「2 健康増進のための活動や健診などの保健予防活動」の 73.9%、「3 やすらぎ聖苑、火葬場、泉沢霊園について」の 73.7%、「4 ごみの減量化やリサイクル」の 73.5%、「5 歴史・文化的遺産の保全や活用」の 63.8%の順となっています。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた「不満」の回答率が最も高かったのは、「30 徒歩や自転車で通行する場合の道路の安全性」の 68.0%であり、「29 歩道やガードレール、カーブミラーなどの整備」が 64.9%でこれに次いでおり、市民生活に身近な道路交通の安全性に対する不満度が高い結果となっています。

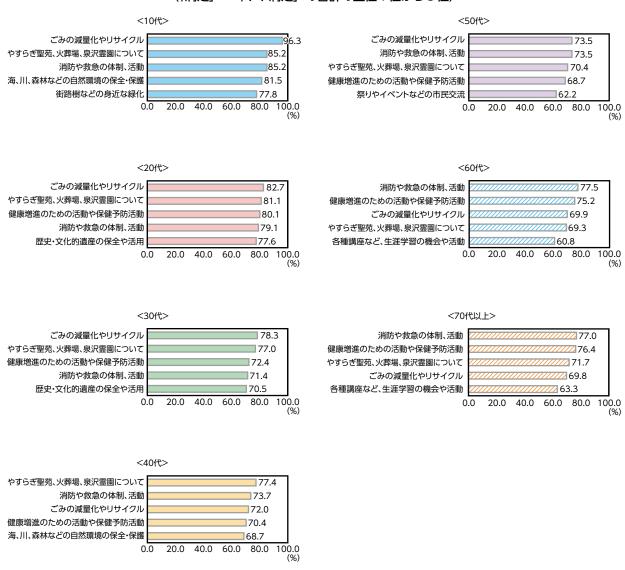
図表 現在の市民生活やまちづくりに対する評価(「満足」 + 「やや満足」の合計の高位順)

	満足	■ やや満足	── やや不満	□ 不満	□ 無回答	
1 消防や救急の体制、活動	21.0		54.7		16.0 3.5	4.8
2 健康増進のための活動や健診などの保健予防活動	11.3	6	2.6			3.9
3 やすらぎ聖苑、火葬場、泉沢霊園について	14.1		9.6			5.1
4 ごみの減量化やリサイクル	13.2		).3			4.6
5 歴史・文化的遺産の保全や活用	10.2	53.6		24.8		6.7
6 各種講座など、生涯学習の機会や活動	10.1	53.3		26.3		5.1
7 祭りやイベントなどの市民交流	8.7	52.5		27.1		5.6
8 障がい者のためのサービス、福祉施設、環境整備	6.0	53.9		27.7		6.4
9 海、川、森林などの自然環境の保全・保護	9.5	49.9		28.4	7.6	4.6
10 街路樹などの身近な緑化	10.4	47.7		30.0	7.6	4.2
11 スポーツ・レクリエーション活動や施設	9.9	47.3		28.9	8.3	5.6
12 自然や集落、街並みの景観	10.5	46.1		30.9	8.4	4.1
13 日常の買い物の利便性	13.7	42.7		26.5	14.1	3.0
14 福祉ボランティアの育成や福祉教育	6.2	49.7		30.9	6.2	7.0
15 地区の集会施設の整備	7.1	47.2		32.1	8.7	4.9
16 主要な幹線道路の整備	10.1	43.7		29.9	12.2	4.0
17 市の行政情報の公開、発信	6.8	46.7		31.5	8.9	6.1
18 差別のない社会づくり	5.7	45.9		31.3	10.3	6.7
19 近隣市町と連携した広域行政の推進	5.6	45.0		35.2	7.1	7.2
20 行政サービスのデジタル化推進	4.4	41.8	3	36.7	9.8	7.3
21 地域の特性に応じた市街地の形成	4.5	40.9	3	9.3	8.9	6.3
22 身近な生活道路の整備	8.4	36.2	33.4	4	19.0	3.1
23 公園や子どもの遊び場の整備	6.9	37.3	36	.7	14.4	4.6
24 企業誘致などによる工業の振興	4.0	37.0	37.9		13.8	7.3
25 防犯灯の設置など防犯体制の整備	6.1	33.6	40.	4	16.9	3.0
26 商業やサービス業の振興	4.6	34.7	40.4	1	13.5	6.8
27 地域における防犯組織の育成	4.8	33.7	44.	4	12.7	4.4
28 中小企業育成や地場産業の振興	4.2	33.5	42.4		12.1	7.7
29 歩道やガードレール、カーブミラーなどの整備	4.3 2	6.7	44.7		20.2	4.1
30 徒歩や自転車で通行する場合の道路の安全性	3 <mark>.9 24</mark>	.2	46.1		21.9	4.0

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

年齢別に「満足」と「やや満足」を合わせた「満足」の回答率の上位1位から5位を見ると、いずれの年齢も「ごみの減量化やリサイクル」、「やすらぎ聖苑、火葬場、泉沢霊園について」、「消防や救急の体制、活動」が入っているほか、10代を除くすべての年齢で「健康増進のための活動や健診などの保健予防活動」が入っているのが特徴的といえます。

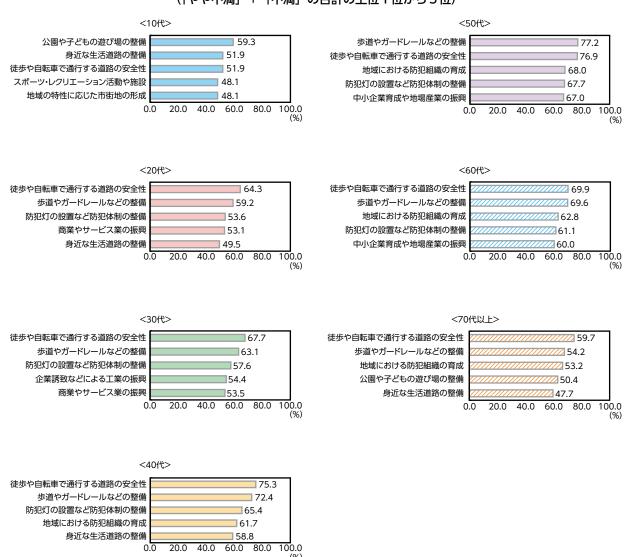
図表 年齢別に見た現在の市民生活やまちづくりに対する評価(1/2) (「満足」+「やや満足」の合計の上位1位から5位)



注)図表中で回答の選択肢の表記が長いものは、適宜、表記を一部簡略化している。

年齢別に「やや不満」と「不満」を合わせた「不満」の回答率の上位1位から5位を見ると、10代を除くすべての年齢で「徒歩や自転車で通行する場合の道路の安全性」と「歩道やガードレール、カーブミラーなどの整備」が上位2位以内に入っており、特に40代及び50代の回答率が70%台と他の年齢に比べて高くなっているのが目立ちます。

# 図表 年齢別に見た現在の市民生活やまちづくりに対する評価 (2/2) (「やや不満」+「不満」の合計の上位1位から5位)



注) 図表中で回答の選択肢の表記が長いものは、適宜、表記を一部簡略化している。

#### 3 今後の人口減少を抑えるために、行政が力を入れるべき取組み

第1位の回答率は、「市外からの企業誘致の促進」と 「若い世代が求める働く場づくり」が最も高くなっています

第1位に挙げられた回答率が最も高かったのは、「市外からの企業誘致の促進」及び「若い世代が求める働く場づくり」の17.9%であり、以下、「地域医療体制の充実」の10.2%、「妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」が10.1%の順となっています。

第1位 第2位 第3位 17.9 市外からの企業誘致の促進 17.9 若い世代が求める働く場づくり 710.2 地域医療体制の充実 10.1 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 **-4.6** 道路や公共交通(鉄道・バス)の充実 4.3 観光の振興 **-4.1** 仕事と家庭の両立支援 L3.7 20・30歳代の若い世代にターゲットを絞った移住支援 3.6 中小企業の経営安定のための支援 2.5 競争力のあるものづくり産業の育成 2.4 出会いから結婚までの支援 2.0 農林水産業の振興 \_2.0\_ 市外からの移住希望者の転入促進 **∟1.**7 次代を担う子どもたちの健全育成 「親・子・孫」を基本とする3世代同居や近居・隣居への支援 **1.4** 市出身者のUターンの促進 **1.3** その他の取組 **L**1.0 防災・減災対策の充実 **1**.0 空き家などの住宅対策の充実 4.0.8 地域の特性を活かした市街地整備 **∟**0.6 特色ある学校教育の充実 **∟**0.6 高齢者の生きがいづくり 0.5 健康寿命の延伸 身近な地域で住民同士が支え合う・助け合う体制の整備 0.1 外国籍市民の定住支援 市民のライフステージに応じた防犯対策の充実 **∟**3.7 無回答 0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0%

図表 今後の人口減少を抑えるために、行政が力を入れるべき取組み (優先順位の高い順に1位から3位まで)